

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月19日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 ななせ 7名

		チェック項目	はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			発達の部屋や中庭を活用し、広い環境で過ごしていただき、ソーシャルディスタンスに努めている。	これからスタッフ、利用者が増えると手狭なので、外などや雨の日の活用を考える必要がある。
	2	職員の配置数は適切である	7			基準は満たしている。正職員の他にパート職員の補充をして支援が行き届くようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1			手すり等はない。車椅子の方が利用されると特にトイレは狭く使用が難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			前年度のものをホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	1		第三者の活用がされていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			コロナの影響により研修の機会は減っているが、参加可能なものについては確保している。	昨年の研修と比べると少なくなっている。新型コロナの影響があり、今年は研修の機会があまりなかった。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			朝礼等でチームで話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			スタッフ会議にてお子様の成長状況、特性を考慮して活動プログラムを立てている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			支援の中で緊急性や速やかに周知すべき事案は伝え、翌日のスタッフミーティングで細かい分析等を行っている。前年度と同じ。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			午前中からお子様を利用される場合はミーティングが難しい場合があるが、午後からの利用の場合はミーティングを行っている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3		4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			出席状況を正確に把握し、下校時間の情報と照らし合わせ、時間通りの送迎が出来るようにしている。送迎時にお子様に来られない時の対応などは話し合っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	2	モニタリング面談を活用して情報の収集ニーズのくみ上げをして適切な支援、連絡体制が取れるようにしている。特別なケアが必要な利用者については対応の仕方など連絡体制を整えているが主治医との直接の連絡体制はない。最初の面談等や見学時に配慮が必要な事は保護者より伝えていただいている。主治医とではなく、保護者と連絡体制を整えている。保護者との間で特別なケアが必要なお子様に対しては対応の方法等、連絡体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			保護者を通して行っている。事業所からではないが、保護者からは就学前の情報をいただいている。担当者会議等で就学前の情報は相談員よりお話を伺っている。また、児童発達支援事業所などとの間でも情報交換ができるよう体制を整えている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	2	まだ該当する利用者はいないが、来年度いらつしやるので、情報提供する予定である。	以前と同じくまだ該当する利用者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			関係機関からの助言は受けている。	コロナ感染流行などの影響もあり、研修は実施できていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	2	このところ参加が難しく出席できていない。情報に関しては市から得ている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	2	前年度と同じ	コロナの問題でほとんどできていないのでは？
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			コロナの影響により、会を開催することが困難だが、保護者が活動されているサークル等の案内をお知らせしたり、保護者同士の繋がりが持てるよう支援を行っている。	コロナの問題でほとんどできていないのでは？ コロナの関係で交流会のようなものは開催できていないが、保護者が携わっている親の会の催しの告知、チラシの配布など連携の促進は行っている。 コロナにより中止になるものが多かったが今後何らかの方法にて行いたいと考えている。 今年は新型コロナウイルスの影響により、開催することができなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			定期的な会報は発行していないが、行事予定や連絡体制の情報は発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			支援の構造化、表示をわかりやすくして情報伝達の工夫がされている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	2		コロナのため出来ていない。今の状況では地域交流行事は難しい。コロナの影響もあり、マルシェなども開催できていない。今年度はコロナウイルスの影響によりなせ全体のマルシェは行えなかった。今年度は新型コロナの影響で招待することはできなかった。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		6	1	不審者対応など周知できているものがある。 前年度と同じ。マニュアルについては職員に周知。保護者には緊急時対応マニュアルに関しては周知している。	作成し、職員には周知しているが保護者へは周知していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			スタッフ会議に委員会を認定している。身体的な事についても月1の会議で話し合うようにしている。	内部研修もやる必要はある。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		1	記録を取り、スタッフ全員で話し合うようにして、その一つ一つの事例を検討している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	1	アレルギーや体質に合わないものを提供しないよう詳しく指示や保護者のニーズを把握するようにしている。保護者に聞き取り、確認を行い、その都度慎重に対応しているが、医師の指示書に基づく対応ではない。保護者からの聞き取りは行っているが医師からの指示書はない。 前年度と同じ。 契約、面談時に保護者に対しアレルギーに関する聞き取りを行い、対応についても保護者へ書くに、気になる事はその都度確認を取りながら対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				事例集は毎回作成し、次の失敗、事故等がないよう共通認識をするようにしている。 前年度と同じ。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月19日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 ななせ 保護者等数(児童数) 回収数15(兄弟姉妹含む) 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2	0	2		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	0	0	1		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	0	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	1	0	1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	2	7	コロナでできないのでは。	コロナの影響で交流が難しいのが現状です。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1	0	1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	0	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	3	0	コロナでできないので仕方ないかと。今はコロナで無いが、それまでは充分あった。	コロナの影響で保護者会の開催等が難しい現状ですが、オンラインでの会の開催等ができないか検討中です。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	0	1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	0	1		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	11	1	0	3		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1	0	1		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	3		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	1	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	12	3	0	0	車に乗る(送迎)時間が長いので早くなせに行きたいと言っていました。	今までは何校か一緒に車で送迎に伺っていましたが、スタッフの増員や、送迎車の便を増やして、送迎時間の短縮に努めてまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。